

平成29年（2017）2月 入域観光客数概況

2月の観光客数は、63万7,900人
対前年（H28）同月比 +1万5,400人、+2.5%
～2月の過去最高を更新、累計で前年度の実績を上回った～

入域状況

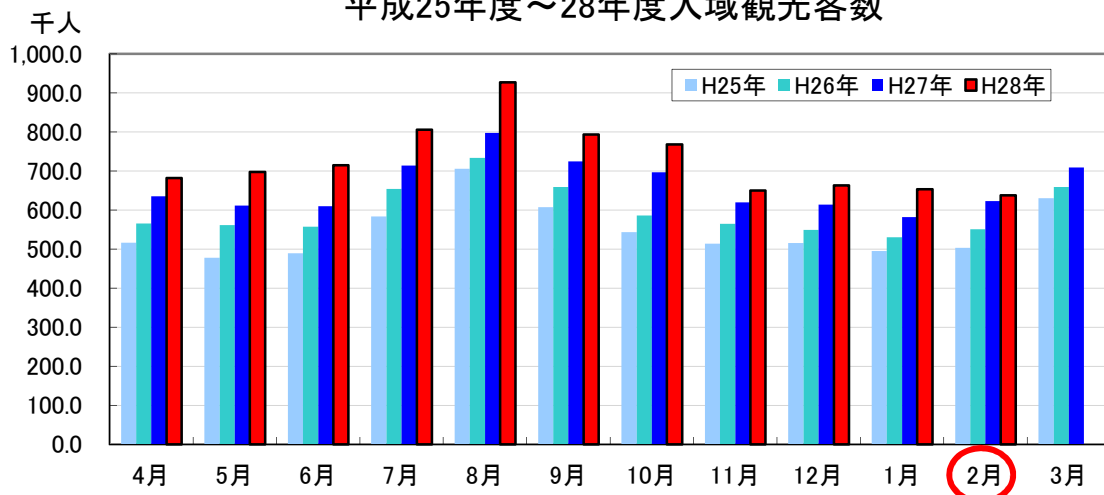
入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	493,800 人	472,600 人	+ 21,200人	+ 4.5%	77.4%
外国客	144,100 人	149,900 人	△ 5,800人	△ 3.9%	22.6%
合計	637,900 人	622,500 人	+ 15,400人	+ 2.5%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	493,800 人	472,600 人	+ 21,200人	+ 4.5%	78.5%
外国客	134,900 人	133,800 人	+ 1,100人	+ 0.8%	21.5%
合計	628,700 人	606,400 人	+ 22,300人	+ 3.7%	100.0%

平成25年度～28年度入域観光客数



国内客 入域状況

2月は、スポーツキャンプ見学や桜祭り等各種イベントが多く、個人旅行を中心に各種商品の販売状況が良好だったことや、各航空会社において離島路線を中心に入込が好調を維持したこと等から、前年を上回った。

3月以降は、春休みによる旅行需要の高まりに加えて、各航空会社における予約状況が良好なことや、下旬からの夏季運航期間において航空路線の拡充が予定されていること等から、好調に推移する見込み。

外国客 入域状況

2月は、新規就航を含む航空路線の拡充があった台湾・韓国及びタイを中心に空路客が増加したものの、春節（旧正月）の旅行需要が2月から1月に早まったことや、前年に比べてクルーズ船の寄港回数が減ったこと等から、中国及び香港を中心に減少し、全体として3ヶ月ぶりに前年を下回った。

3月以降は、3月に台湾・高雄－那覇路線、4月に韓国・大邱及び中国・西安－那覇路線の新規就航を含む航空路線の拡充があること等から、空路客を中心に好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	241,400 人	225,400 人	+ 16,000人	+ 7.1%	48.9%
関西方面	97,200 人	95,500 人	+ 1,700人	+ 1.8%	19.7%
福岡方面	64,900 人	65,300 人	△ 400人	△ 0.6%	13.1%
名古屋	43,600 人	41,000 人	+ 2,600人	+ 6.3%	8.8%
その他	46,700 人	45,400 人	+ 1,300人	+ 2.9%	9.5%
合計	493,800 人	472,600 人	+ 21,200人	+ 4.5%	100.0%

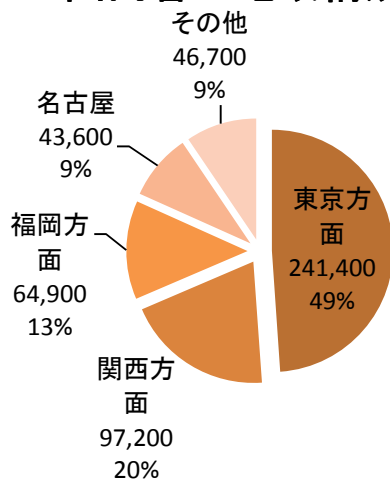
※国内海路客1,700人を含む(鹿児島1,600人、大阪100人)

外国客 国籍別入域状況

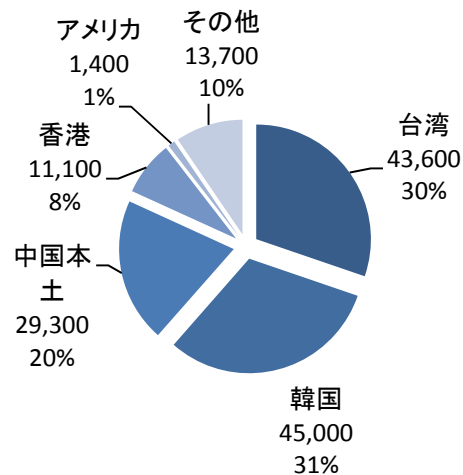
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H28年度	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	43,600 人	43,600 人	31,800 人	+ 11,800人	+37.1%	30.3%
韓国	45,000 人	45,000 人	39,200 人	+ 5,800人	+14.8%	31.2%
中国本土	29,300 人	29,300 人	43,600 人	△ 14,300人	△32.8%	20.3%
香港	11,100 人	11,100 人	14,000 人	△ 2,900人	△20.7%	7.7%
アメリカ	1,400 人	1,400 人	1,200 人	+ 200人	+16.7%	1.0%
その他	13,700 人	4,500 人	20,100 人	△ 6,400人	△31.8%	9.5%
合計	144,100 人	134,900 人	149,900 人	△ 5,800人	△3.9%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	33,700 人	33,700 人	+43.4%	29.5%	9,900 人	9,900 人	+19.3%	33.1%
韓国	45,000 人	45,000 人	+14.8%	39.4%	0 人	0 人	—	0.0%
中国本土	19,500 人	19,500 人	△13.7%	17.1%	9,800 人	9,800 人	△53.3%	32.8%
香港	10,900 人	10,900 人	△10.7%	9.5%	200 人	200 人	△88.9%	0.7%
アメリカ	1,000 人	1,000 人	+0.0%	0.9%	400 人	400 人	+100.0%	1.3%
その他	4,100 人	4,100 人	+28.1%	3.6%	9,600 人	400 人	△43.2%	32.1%
合計	114,200 人	114,200 人	+12.3%	100.0%	29,900 人	20,700 人	△38.0%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

2月は、スポーツキャンプ見学や桜祭り等各種イベントが多く、各旅行会社における旅行商品の販売状況が良好だったことや、各航空会社において羽田－離島及び成田路線を中心に入込が好調を維持したこと等から、前年を上回った。

3月は、春休みによる旅行需要の高まりに加えて、各航空会社における予約状況が良好なこと等から、好調に推移する見込み。

大阪

2月は、スポーツキャンプ見学や各航空会社において個人旅行を中心に販売状況が良好だったこと、伊丹－那覇及び関西－宮古路線を中心に入込が増加したこと等から、前年を上回った。

3月は、各航空会社における予約状況が良好なことや、下旬にはスカイマークによる神戸－那覇路線の増便が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

福岡

2月は、各航空会社における個人旅行商品の販売状況やLCCは好調を維持したものの、各旅行会社における旅行商品の販売状況が低調だったことや、前年同月に比べて提供座席数が減となったこと等から、前年をやや下回った。

3月は、各航空会社における予約状況が良好なことや、各旅行会社による販売取組の強化の動きがあること等から、堅調に推移する見込み。

名古屋

2月は、スポーツキャンプ見学や個人を中心に旅行商品の販売状況が良好だったこと、名古屋－宮古間の直行チャーター便も好調だったこと等から、前年を上回った。

3月は、春休みの学生旅行等の需要の高まりに加えて、個人旅行を中心に予約状況が良好なことや、引き続き、名古屋－宮古間の直行チャーター便が予定されていること等から、好調に推移する見込み。

台湾

2月は、個人旅行を中心に販売状況が好調だったことや、定期クルーズ船の寄港があったこと、タイガーエア台湾の台北－那覇路線の増便を含む航空路線の拡充があったこと等から、空路・海路客ともに増加、前年を上回った。

3月は、タイガーエア台湾の高雄－那覇路線の新規就航や、引き続き、定期クルーズ船の寄港が予定されていること等から、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。

韓国

2月は、韓国プロ野球キャンプ見学や春休みの旅行需要に伴いオプション付き旅行商品の販売状況が好調だったことや、前年同月に比べて各航空会社による航空路線の拡充があったこと等から、前年を上回った。

3月以降は、国内情勢の影響が懸念されるものの、4月に、ティーウェイ航空の大邱－那覇路線の新規就航が予定されていること等から、好調に推移する見込み。

中国本土・北京

2月は、各旅行社による旅行商品の販売強化の動きがあったものの、春節時期の旅行需要が2月から1月に早まったこと等から、前年を下回った。

3月以降は、天津発クルーズ船の寄港が予定されていることや、4月に、中国東方航空の西安－那覇路線の新規就航が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

中国本土・上海

2月は、春節時期の旅行需要が2月から1月に早まったことや、前年に比べて大型のクルーズ船の寄港回数が減ったこと等から、空路・海路客ともに減少、前年を下回った。

3月は、個人旅行を中心に予約状況が良好なことや、上海、広州及び深圳発クルーズ船の寄港が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

香港

2月は、冬場のオフシーズンであったことや、前年に比べて香港発クルーズ船の寄港回数が減ったこと等から、空路・海路客ともに減少、前年を下回った。

3月は、香港エクスプレスによる香港からの直行便が就航している石垣を中心としたオプション付き旅行商品の予約状況が良好なことや、下旬には同路線の増便が予定されていること等から、空路客を中心に堅調に推移する見込み。